

# すすめよう！男女共同参画

問合せ先

役場企画課企画調整係  
(内線213)

## ◆子育てと働き方の調和

表は、民間企業の正規社員に対して「就学前の子どもがいるとき」の理想の働き方について、入社1年目と5年目に調査した結果です。

フルタイムで働くことを選ぶ女性が①～③のいずれのタイプでも増えています。

男性は、フルタイムの中で「③時間の融通のきくフルタイム」が増え、「①急な残業もあるフルタイム」と「②残業のないフルタイム」は減っています。そして、わずかですが、「⑤家でできる仕事」を理想とする男性が増えています。

また、女性も男性も「③時間の融通のきくフルタイム」が最も多くなっています。

この調査結果から、入社1年目から5年目の変化として、正規職で働き続けたいとする女性が増えたほか、男性の子育てへの参加意欲が上昇したと推察されます。

さらに言えば、女性も男性も「③時間の融通のきくフルタイム」で働きながら、男女共同で子育てを行うことが理想と考える人が増えているようです。

また、同じ調査の管理職志向に関する設問に対し、「管理職を目指したい」と「どちらかという目指したい」とした女性は、1年目の60.0%から5年目に37.6%と大きく低下しています。男性も1年目の96.9%から5年目に

87.9%と低下していますが、低下の割合は小さく、男女間の管理職志向には大きな差があります。その原因の1つに、職場・家庭などでのジェンダー規範（性別に基づく社会的な役割分担に関する「こうあるべき」とする規準）があると考えられます。

みんなが管理職志向を持つ必要はありませんが、男女共同参画社会の実現のためには、ジェンダー規範に縛られずに、柔軟な働き方ができることが必要であり、それがワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現につながると考えられます。それは、今回のコロナ禍でのテレワークや在宅勤務の導入など働き方の見直しともうまく調和するのではないのでしょうか。

表 「就学前の子どもがいるとき」の理想の働き方：入社1年目と5年目の比較 (%)

	女性		男性	
	1年目	5年目	1年目	5年目
①急な残業もあるフルタイム	1.4	2.4	28.2	20.2
②残業のないフルタイム	3.3	10.5	26.7	14.4
③時間の融通のきくフルタイム	25.4	41.1	42.3	59.5
④短時間勤務	46.9	29.2	1.8	1.8
⑤家でできる仕事	15.8	13.4	0.6	3.7
⑥正社員としては働かない	7.2	3.3	0.3	0.3
回答数	209		326	

※出典：NWEC「男女の初期キャリア形成と活躍推進に関する調査」(2020年5月)

※NWEC：独立行政法人国立女性教育会館

※分析対象：2015年に民間企業の正規職について新入社員を5年目まで追跡調査